

第3回検討会における検討事項について

国土交通省自動車局
平成28年5月

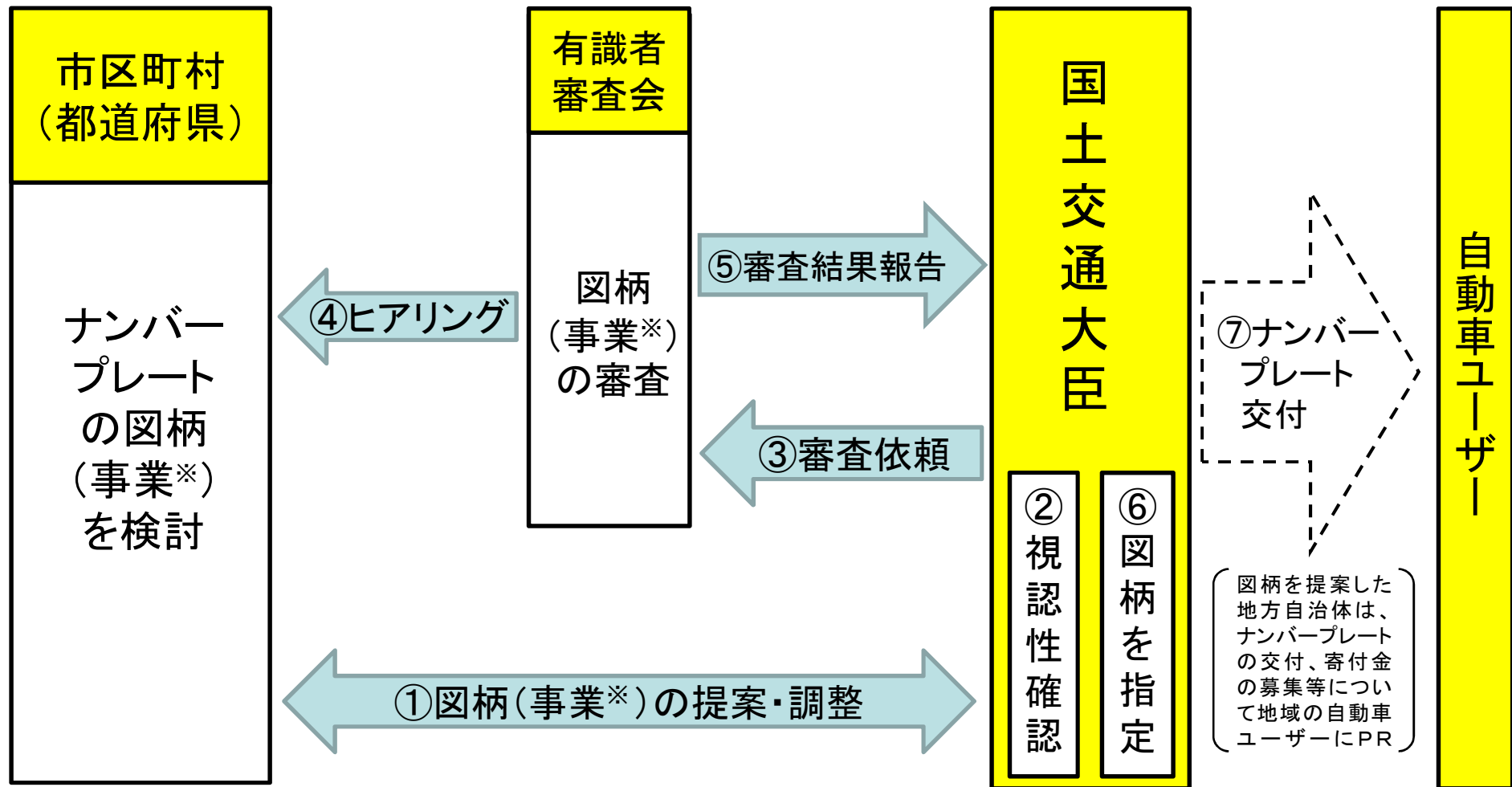
図柄入りナンバープレート制度骨子について

※第3回図柄入りナンバープレート制度検討会(平成28年2月19日)＜会議資料4(一部修正)＞

制度設計の項目		地方版図柄入りナンバープレート	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 特別仕様ナンバープレート(全国版)
① 交付地域の単位	単位	・ナンバープレートの地域名表示単位(116地域)。	
	地域数	・単独又は複数の地域名表示単位で交付。	・すべての地域名表示単位(全国)で交付。
② 対象車種		・登録自動車(自家用、事業用)と軽自動車(二輪を除く)(自家用)を対象。	
③ 図柄の提案主体		<ul style="list-style-type: none"> ・地域名表示に包含される市区町村のすべてが合意した上で、共同で提案。 ・都道府県の地理的範囲が地域名表示の範囲と合致する場合等においては、市区町村の合意を得た上で、都道府県からの提案も可能。 	・国土交通省等において、国民に理解の得られる方法により選考。
④ 図柄の選定基準		・ナンバープレートに記載された番号等の視認性が確保されていることのほか、他者の権利(商標登録など)を侵すものでない、公序良俗に反するおそれがあるものでない等の基準を満たしているもの。	
⑤ 図柄の数		<ul style="list-style-type: none"> ・寄付金を募集する場合は、寄付金付き1種類、寄付金なし1種類の2種類。 ・寄付金を募集しない場合は、寄付金なし1種類。 	・寄付金付き1種類、寄付金なし1種類の2種類。
⑥ 寄付金を充てる事業の範囲の考え方		・自動車ユーザー等に裨益するものであって、単年度で配分の効果が発現するもの。	
		<ul style="list-style-type: none"> ・寄付金を募集するか否かについては、提案する地方自治体が選択。 ・寄付金の使途は、地域における自動車交通サービスの改善・利用促進に資する事業、観光振興に資する事業、交通事故の被害者救済等。具体的な使途は、提案段階で明確化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付金を募集。 ・寄付金の使途は、大会開催に向けて必要となる交通サービスの整備促進・利便性向上。
⑦ 寄付金の募集・配分		<ul style="list-style-type: none"> ・以下の要件を満たす、国又は地方自治体以外の非営利の組織が募集・配分を行う。 寄付金の配分に係る透明性・公平性を確保すること、寄付金の使途・配分について地域の意思を反映すること、寄付金の配分に係る検証を行うこと、ナンバープレート交付業務との連携を行うこと、ユーザーが寄付を行いやすくするための仕組みを行うこと 等 	

地方版図柄入りナンバープレートの提案から交付までのフロー（イメージ）

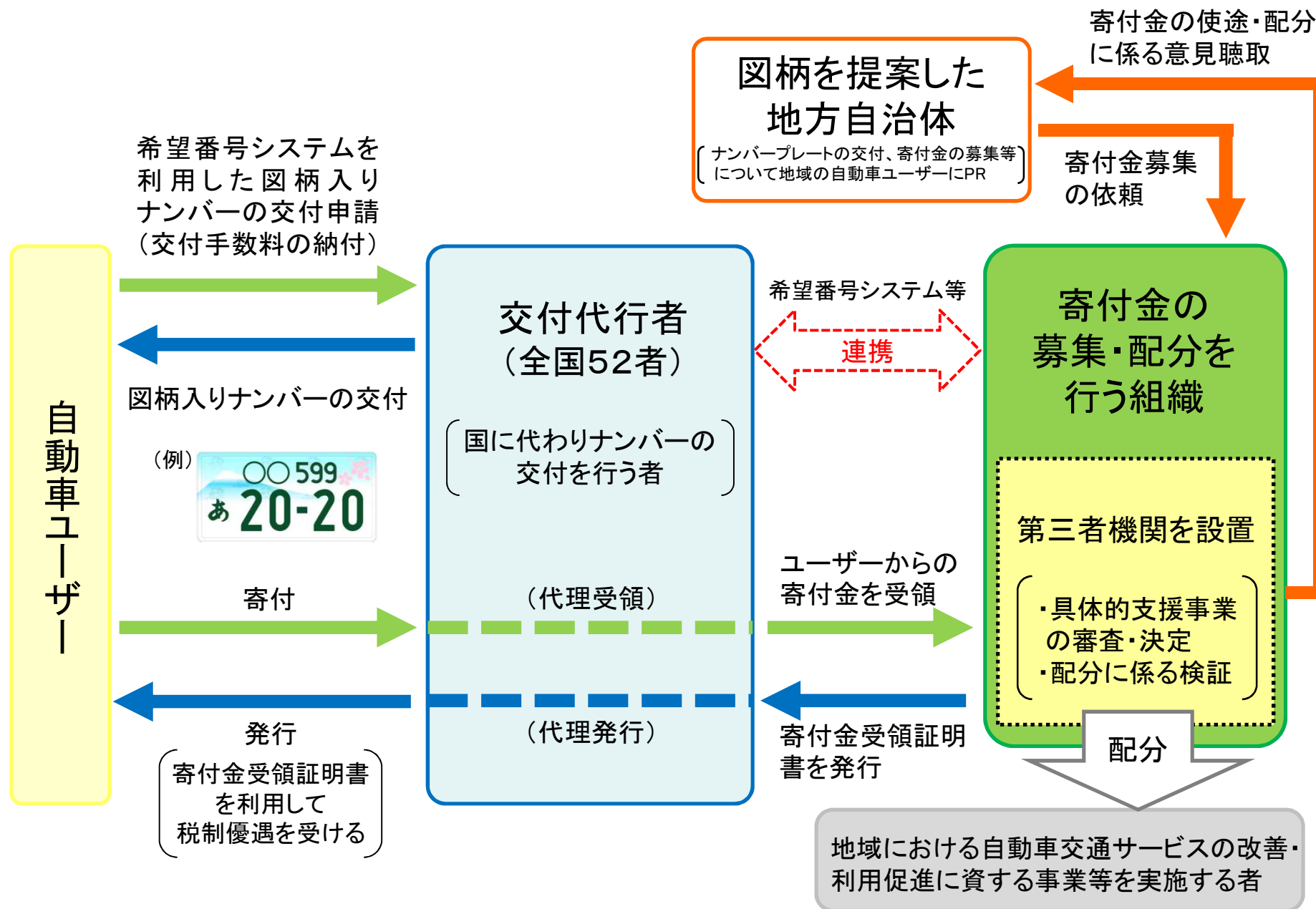
※第3回図柄入りナンバープレート制度検討会（平成28年2月19日）＜会議資料4（抜粋）＞

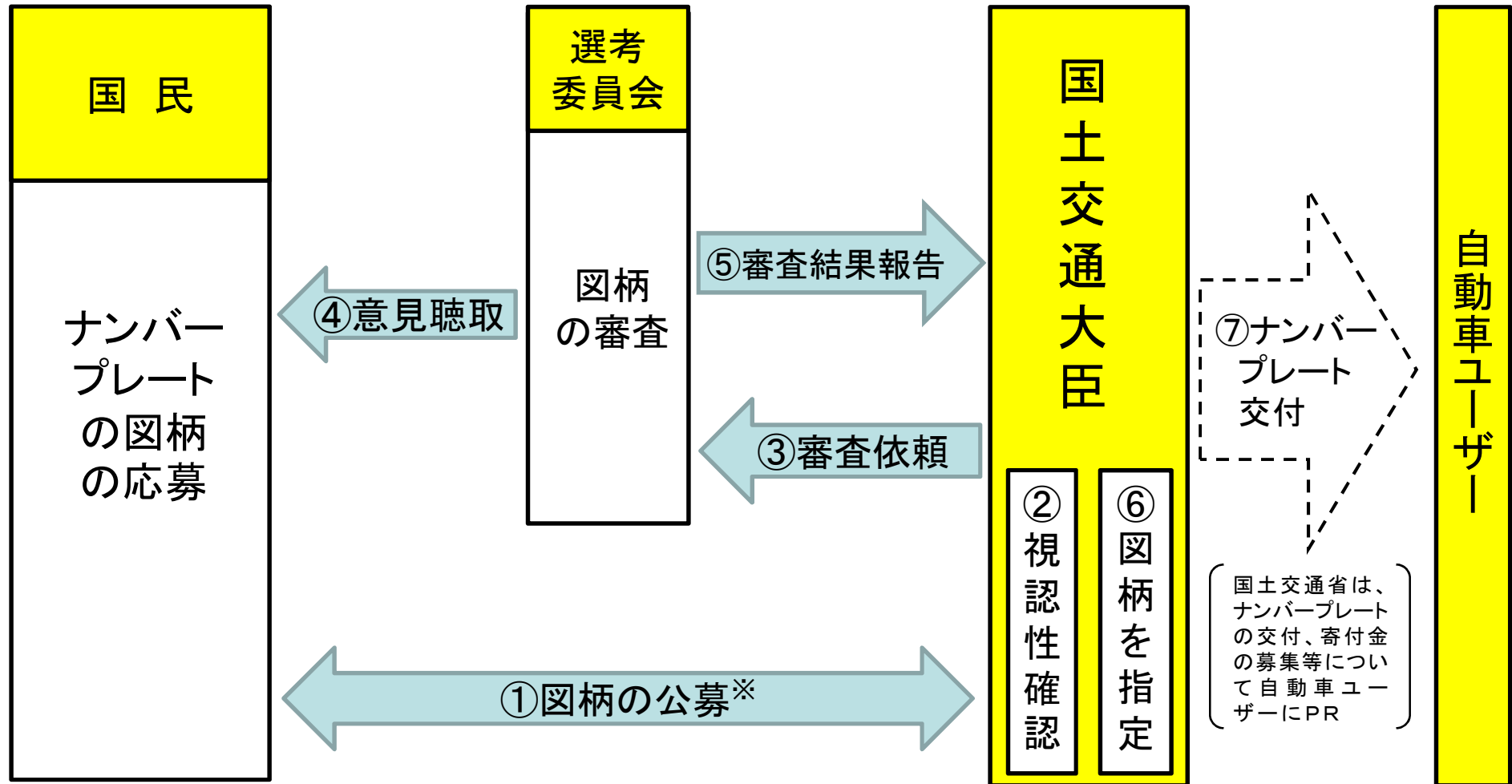


※地方自治体において、寄付金を充てることを想定している自動車交通サービスの改善・利用促進に資する事業、観光振興に資する事業、交通事故の被害者救済等

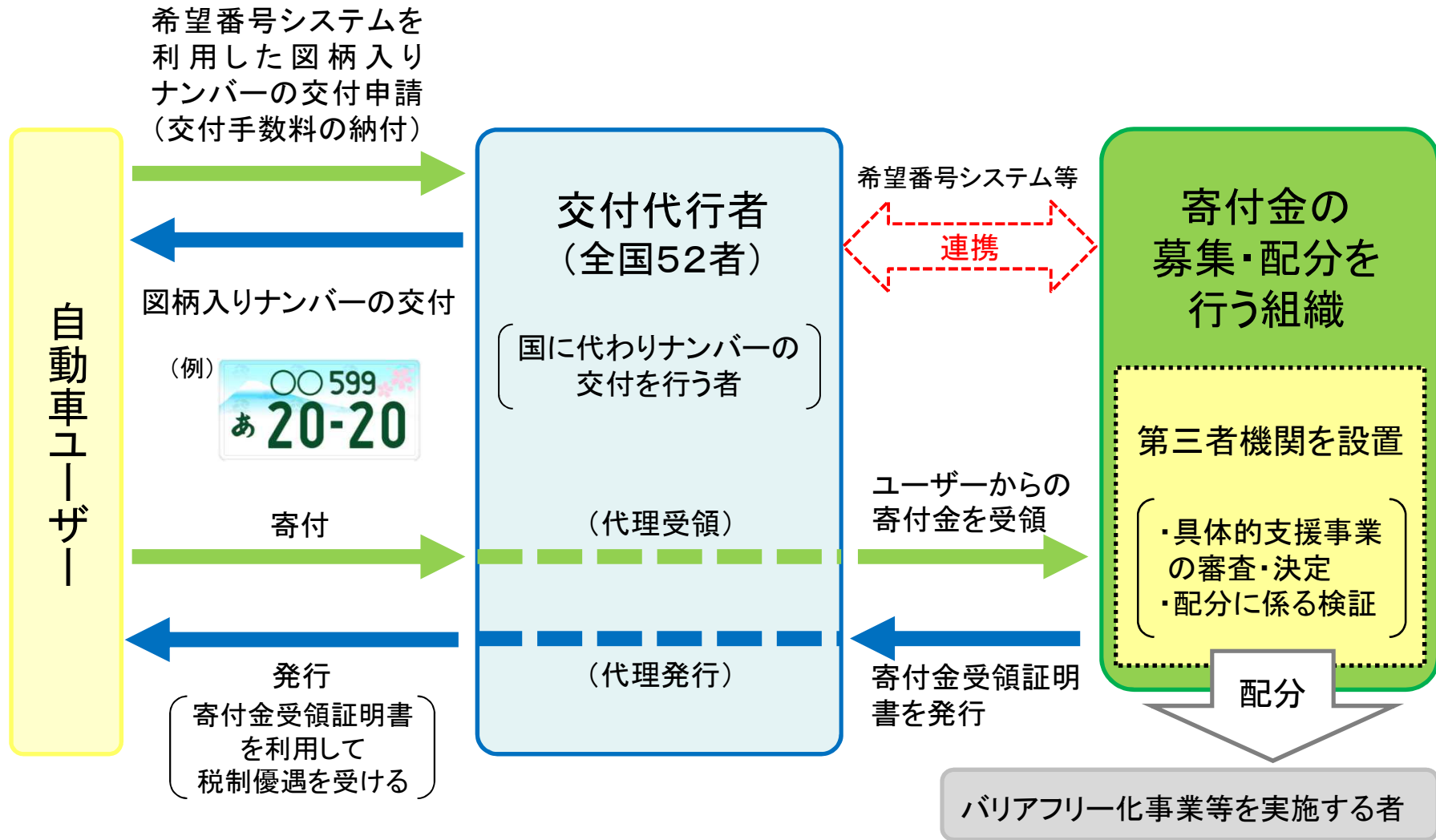
地方版図柄入りナンバープレートの寄付金の募集・配分のフロー（イメージ）

※第3回図柄入りナンバープレート制度検討会（平成28年2月19日）＜会議資料2（抜粋）＞





※具体的な図柄の公募方法等については、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と調整の上、決定



<資料2「地方版図柄入りナンバープレート制度設計に向けた論点整理(寄付金)について」>

- 寄付金を充てる事業の範囲の考え方(検討事項⑥)については、自動車ユーザーのアンケート調査結果を踏まえて、自動車ユーザーに関連する事業に充てることとするなどとしており、賛成である。
- 寄付金の募集・配分の方法(検討事項⑦)については、寄付金の配分に係る透明性・公平性の確保等に関して適切な要件を設けることとしており、賛成である。特に寄付金を配分した事業の効果を事後的に検証することを要件としている点は評価する。ただし、事業の効果の検証に当たっては、あまりコストをかけたものとならないようにすることが必要である。

<資料3「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートの制度設計について」>

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートは地方版図柄入りナンバープレートと同様の図柄入りナンバープレートであることから、制度設計に当たっては、基本的に地方版図柄入りナンバープレートの制度設計を踏襲することで、賛成である。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートの図柄の数の考え方を踏まえて、地方版図柄入りナンバープレートにおける地方自治体から提案できる図柄の数について見直すことは、賛成である。

<まとめ>

- 図柄入りナンバープレートの制度設計については、事務局からの提案内容で異論ない。
※資料4「図柄入りナンバープレート制度骨子(案)について」及び資料5「今後のスケジュールについて」に対しては、特段の発言なし。